

2020 年度活動助成 活動実績報告書

団体名	笑顔つながるささやまステイ実行委員会
活動テーマ	福島第1 原発事故で放射能の影響を受けている子どもたちと保護者に向けた保養プログラム



福島第1 原発事故発生から10年がたったが、今なお除染されていない地域があったり、放射線量の高いスポットが点在することから、子どもたちは自然の中で思いっきり遊ぶ機会を奪われている。放射能を気にすることなく、思いっきり遊ぶ機会を提供し、子どもたちの運動不足解消と、健全な発育に寄与することを目的として、2021年3月26日～30日、3家族10名を丹波篠山に招き、笑顔つながるささやまステイを開催した。

新型コロナウイルス感染症の影響により、本来昨夏に実施予定だったが、やむなく延期。2度目の緊急事態宣言が解除された春休みに実施した。感染拡大を防ぐため、例年のような山小屋風の建物での合宿形式、大皿料理をみんなで作って食べるという形式はリスクが高いと判断し、一般の宿泊施設を利用して行った。外遊びが時間も場所も制限されている子どもたちと、宿泊施設の敷地内にあるフィールドアスレチックやパターゴルフで体を動かしたり、釣り堀で魚釣りを行った。また、市内にあるチルドレンズミュージアムでも、思いっきり遊ぶ時間を作った。保護者に向けては、スタッフとボランティアで子どもたちを預かり、保護者が大人だけでゆっくり過ごす時間を提供し、つかの間ではあるが、子育ても放射能のことも気にせず自分を大切にできる、自分のために時間を使っていた。短期間ではあったが、放射線量の低い丹波篠山で過ごしてもらい、子どもたちも保護者も体内に溜まった放射能の排出につなげることができた。また、いつもとは違う形ではあったが、豊かな自然の中で、子どもたちは毎日思いっきり楽しく遊び、本来生まれ育った環境で養う豊かな発想を身につける一助になったと考えている。